

# 令和5年度 精度管理報告会 脳波問題

参加施設数 24施設

テーマ

『突発性異常波』

『知っておかなければならない用語』

# 問題 1

7歳、男児。てんかんにて加療中

図 1





睡眠時の脳波で、両側中心部に頭蓋頂鋭波（瘤波）が出現  
左側頭部優位に突発性異常波が出現

①右中心部優位に突発性異常波が出現している。✗



頭蓋頂鋭波（瘤波：hump）

両側性で左右対称



突発性異常波（鋭波）

波形の波及

## <問題1の正解と正解率>

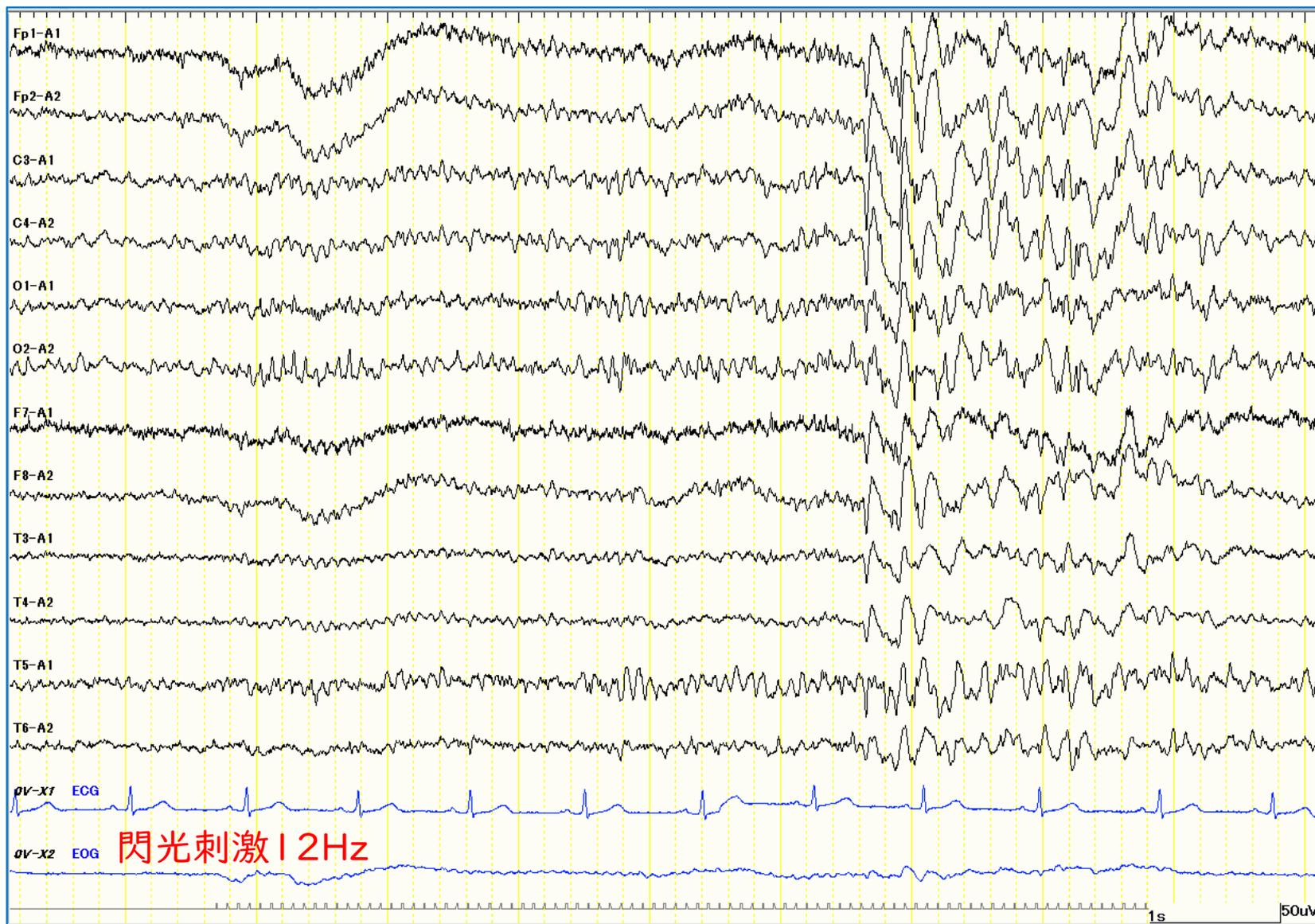
- ① 右中心部優位に突発性異常波が出現している。 2/24施設
- ② 左側頭部優位に突発性異常波が出現している。 21/24施設
- ③ 右前頭部優位に突発性異常波が出現している。 0/24施設
- ④ 脈波によるアーチファクトが混入している。 0/24施設
- ⑤ 睡眠stageN3相当と考えられる。 1/24施設

正解：② 21/24施設 (87.5%)

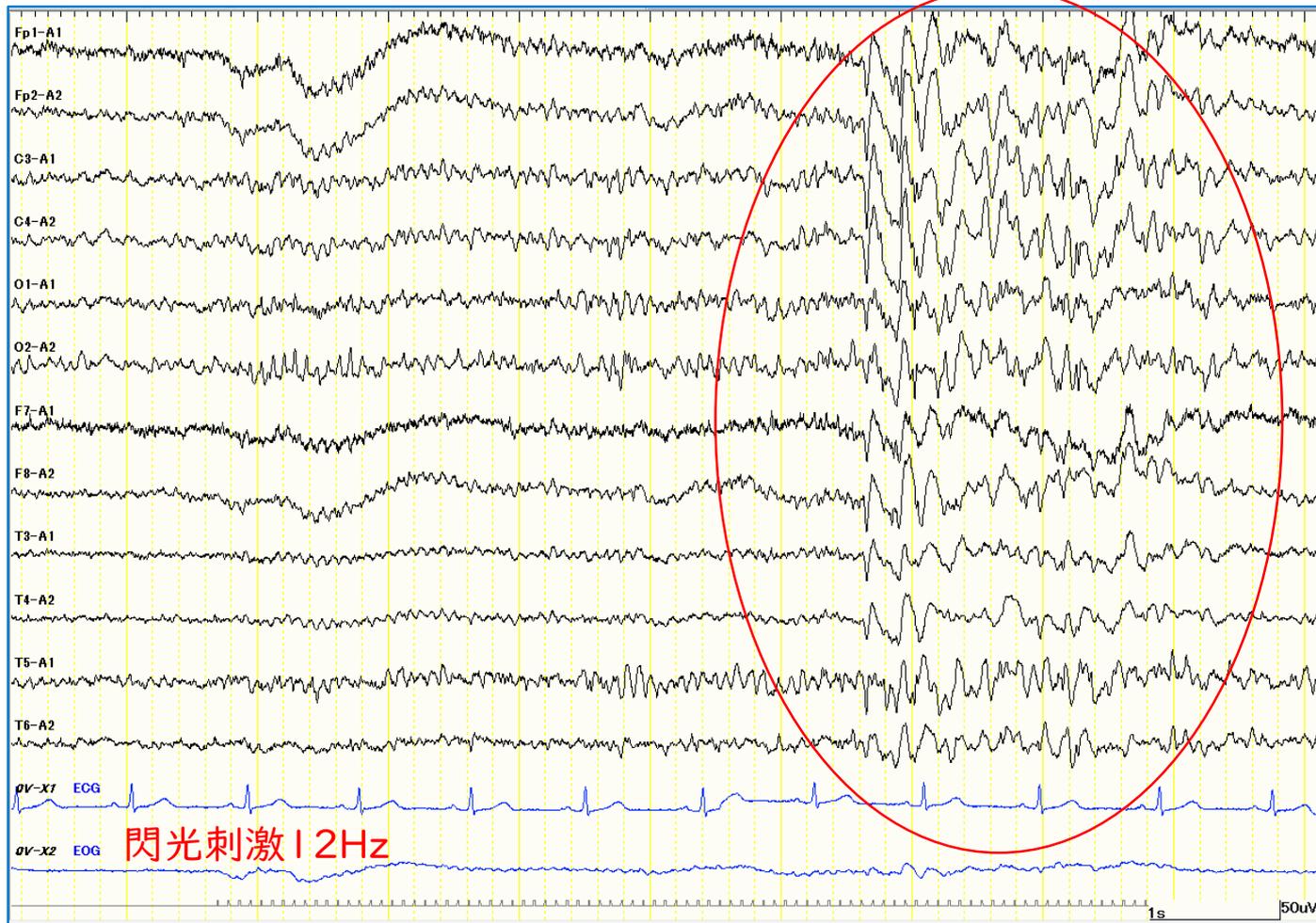
# 問題 2

30代、女性。意識消失で救急搬送。翌々日の脳波

図 2



⑤全般性に突発性異常波が出現している。○



お詫び

選択肢④と⑤が同じ文言で出題してしまい、混乱を招くこととなり、大変ご迷惑をおかけいたしました。  
申し訳ありませんでした。

## <問題2の正解と正解率>

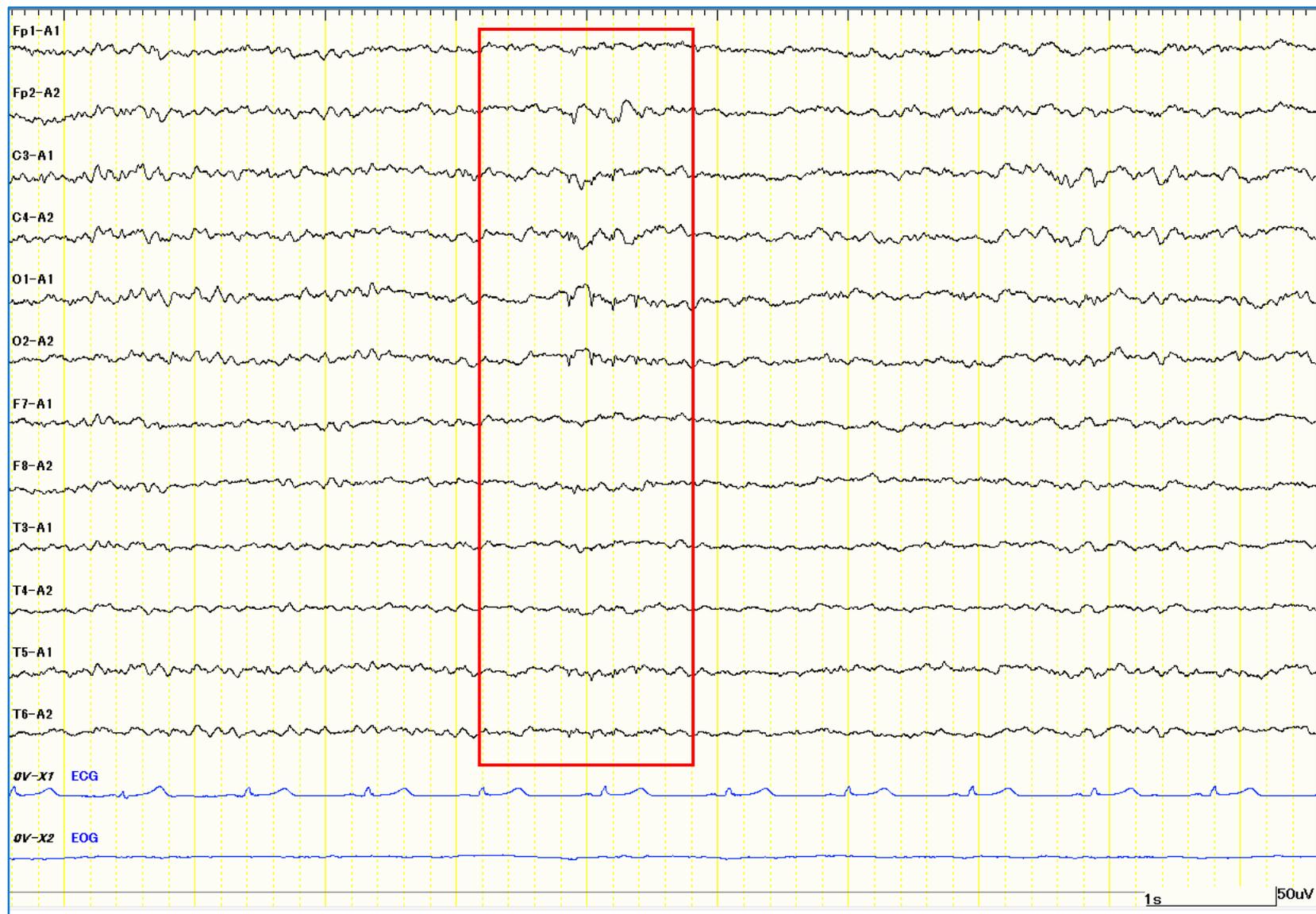
- |                             |                |
|-----------------------------|----------------|
| ① Photic drivingはみられない。     | 0/24施設         |
| ② 眠気の影響があると考えられる。           | 0/24施設         |
| ③ 後半部分に瞬目によるアーチファクトが混入している。 | 0/24施設         |
| ④ 閃光刺激を再検する必要がある。           | 3/24施設         |
| <u>⑤ 全般性に広がる異常波が出現している。</u> | <u>21/24施設</u> |

正解：⑤ 評価対象外

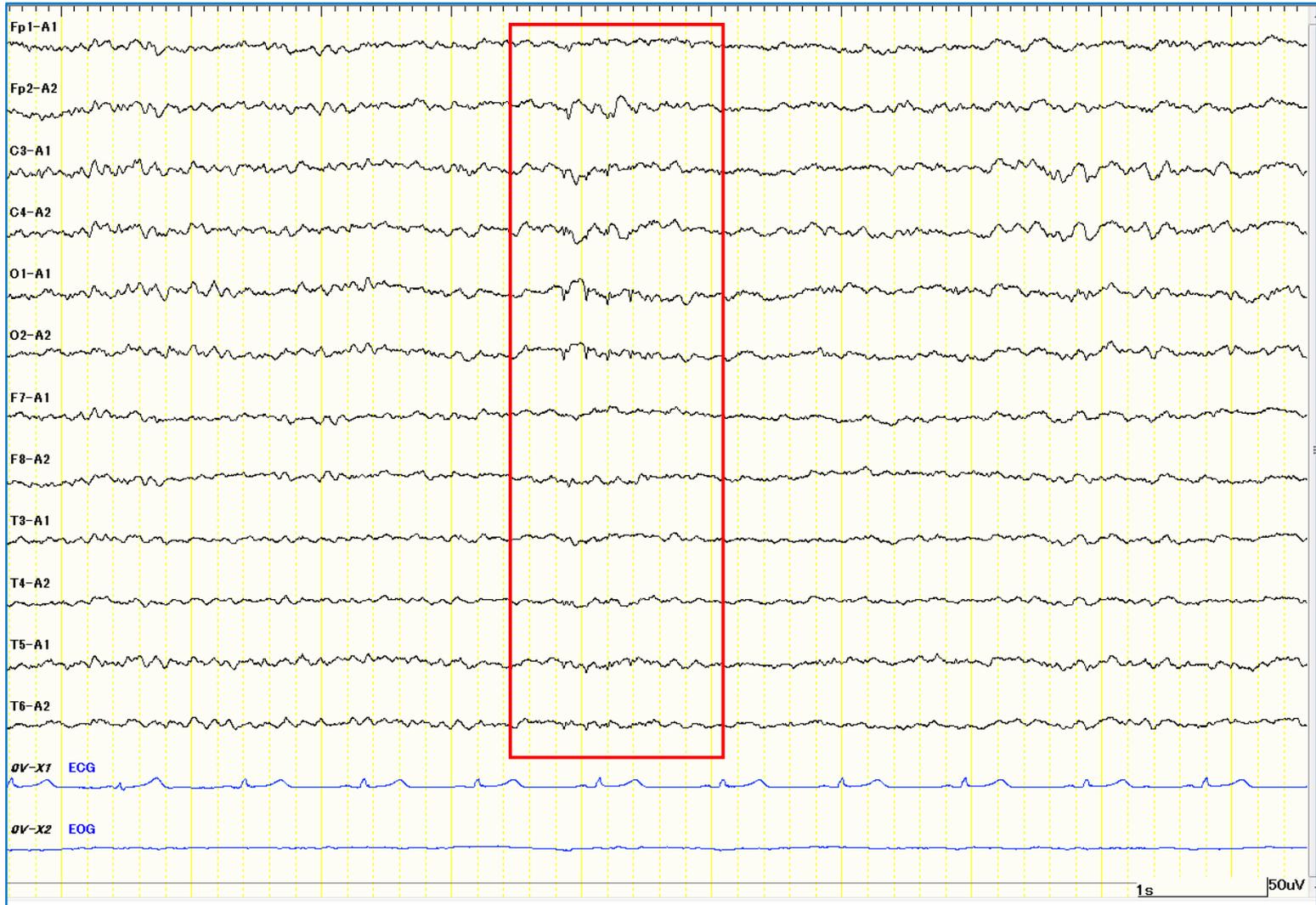
# 問題3

17歳、男性。一過性意識消失にて来院

図3



# 図3



覚醒時～入眠期の波形で、四角で囲った部分に  
6Hz positive spikeを認める。

## 6Hz positive spike (14 & 6Hz positive spike)

- ◆ 前頭部優位や後頭部優位
- ◆ 持続は1秒前後のことが多い

SSS : 小鋭棘波 Small sharp spikes

- ◆ 振幅20~50 $\mu$ V、ときどき出現、単発、非局在性陰性で速い波、一過性、両側同期性、不規則
- ◆ てんかん、精神疾患など 正常成人6~8%

POSTS : 睡眠時後頭部陽性鋭波 Positive occipital sharp transient of sleep

- ◆ 後頭部に反復して出現する陽性鋭波
- ◆ 青年期以降の成人

## < 問題 3 の正解と正解率 >

① 6Hz positive spike	18/24施設
② hump & spindles	0/24施設
③ SSS	2/24施設
④ POSTS	3/24施設
⑤ artifact	1/24施設

正解：① 18/24施設 (75.0%)

# 非けいれん性てんかん重積 (NCSE)

- ・意識障害時の診療
- ・脳波が必須

用いる脳波関連の用語が変化！

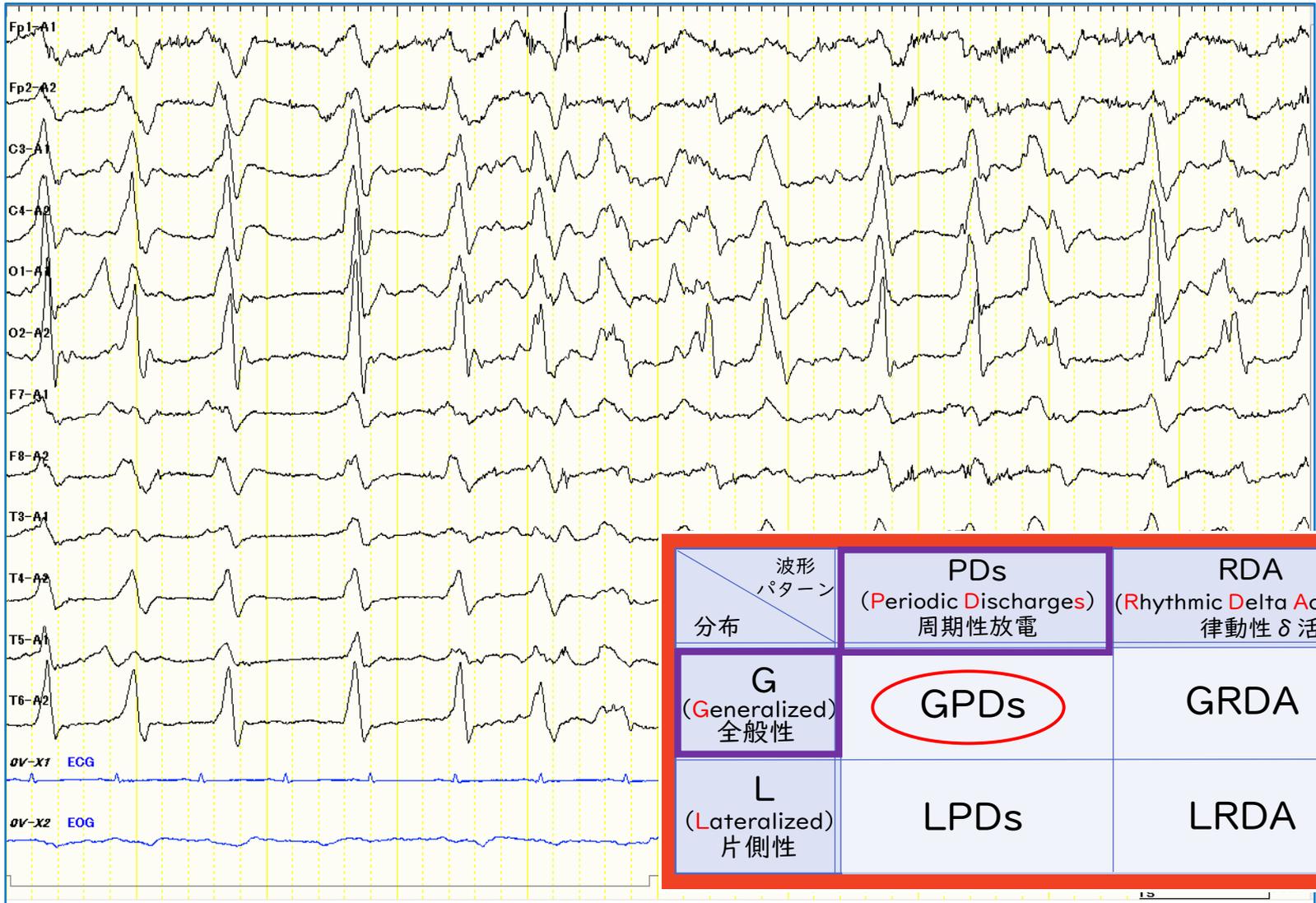
波形 パターン 分布	PDs (Periodic Discharges) 周期性放電	RDA (Rhythmic Delta Activity) 律動性 $\delta$ 活動
G (Generalized) 全般性	GPDs	GRDA
L (Lateralized) 片側性	LPDs	LRDA

Standardized critical care EEG terminology 2012  
<アメリカ臨床神経生理学学会>

# 問題 4

50代、男性。脳梗塞、アルコール依存症にて加療中。  
意識障害、けいれんにて入院。

図 4



ベッド 傾眠傾向 指示動作一部可能

## < 問題 4 の正解と正解率 >

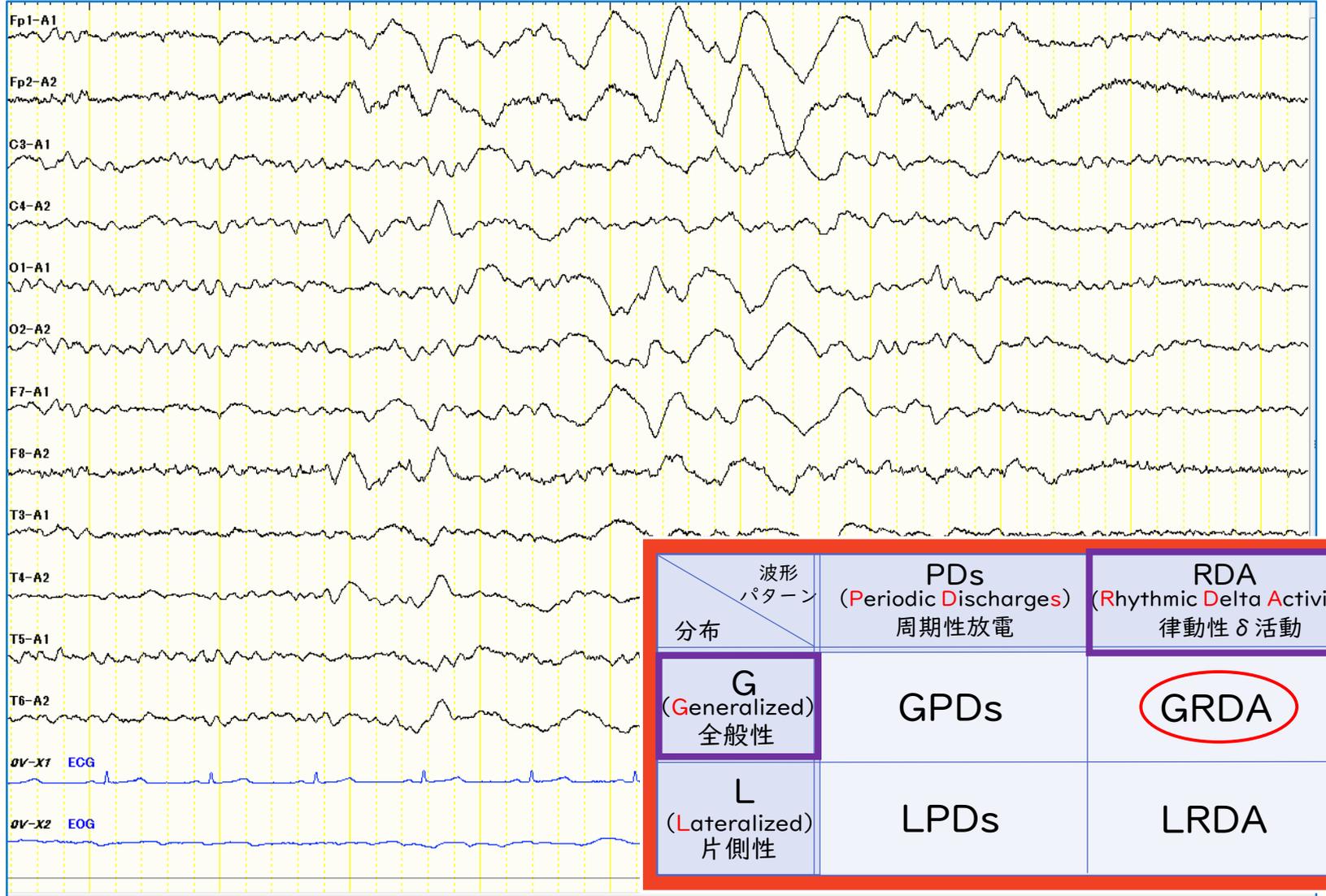
① GRDA	0/24施設
② LPDs	2/24施設
<u>③ GPDs</u>	<u>22/24施設</u>
④ LRDA	0/24施設
⑤ Suppression-burst	0/24施設

正解：③ 22/24施設 (91.7%)

# 問題5

70代、男性。肝硬変にて加療中。  
発熱、呼吸不全でIPPV管理中、意識障害遷延

図5



ベッド 傾眠傾向 指示動作一部可能

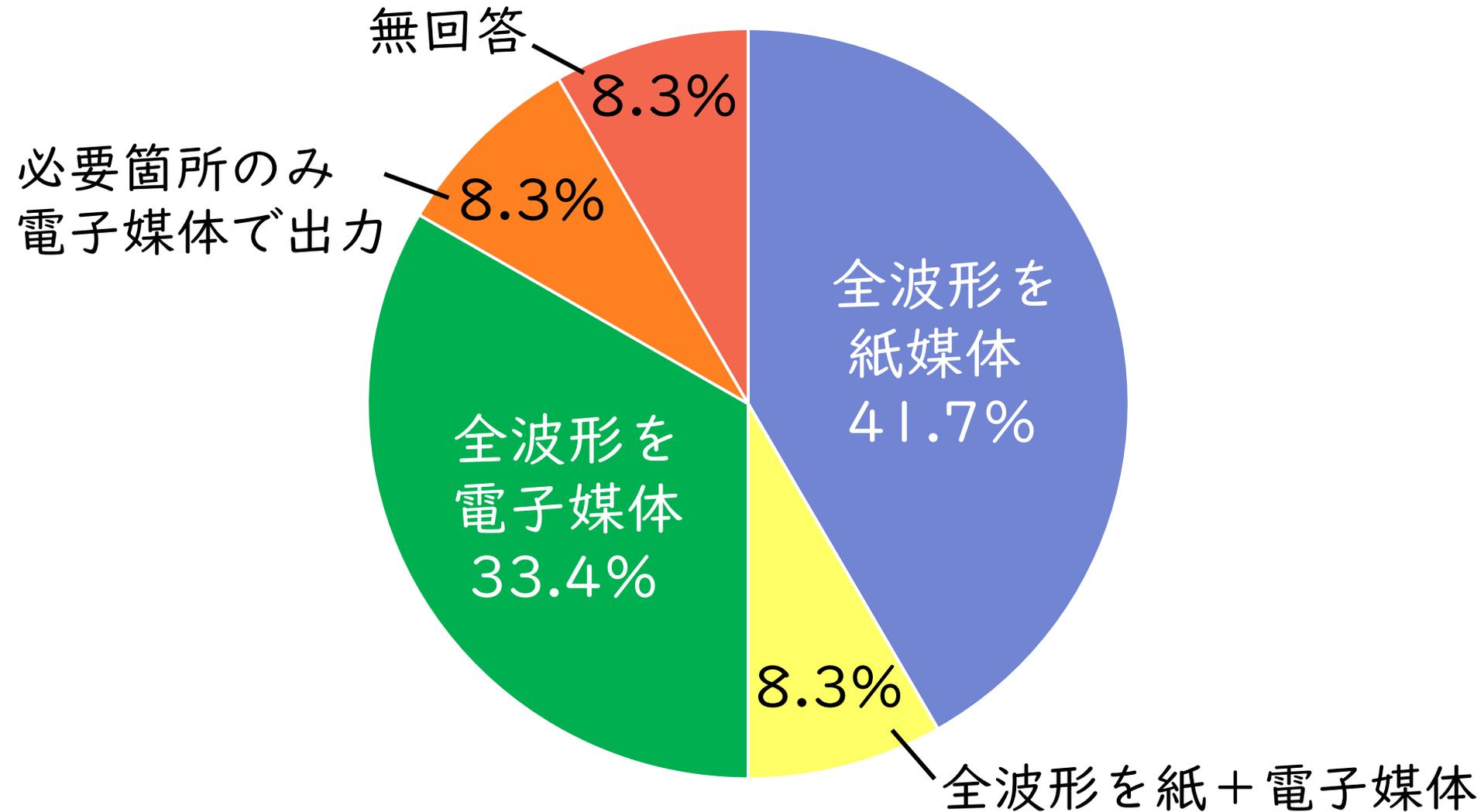
## < 問題 5 の正解と正解率 >

① GRDA	20/24施設
② LPDs	0/24施設
③ GRDs	1/24施設
④ LRDA	3/24施設
⑤ Spike & wave	0/24施設

正解：① 20/24施設 (83.3%)

## 問題 6

脳波波形をどのように臨床側へ報告されていますか？



## まとめ

全体の施設正解率平均：84.4%

突発性異常波などを確認しやすい脳波記録  
= 目的に耐えうる脳波記録



目的にあった丁寧な脳波記録

参考文献・書籍：大熊輝雄 臨床脳波学 第5版 医学書院 1999  
齋藤正範 脳波レポートの読み方 星和書店 2001  
日本臨床神経生理学会 臨床脳波を基礎から学ぶ人のために 第2版  
診断と治療社 2019  
吉本元ら 高齢者の意識障害の脳波 臨床神経生理学47(1)：47-52,2019

<問い合わせ>

松阪市民病院 中央検査室 中島佳那子

Tel：0598-23-1515（内線240） Mail：dai2seiri@yahoo.co.jp